

かじか 河鹿の会

【団体の概要】

会員数	12名
代表者名	小杉義雄
主な活動場所	図書館、小学校など



1 団体設立の経緯

日本児童文学者協会鹿沼支部「^{かじか}河鹿の会」は、昭和32年発足以来、児童文学の創造と普及を旗印に、創作活動・読書指導・読書啓発活動など、地域文化の活性化と向上発展の一翼を担ってきた県内有数の歴史をもつ児童文学者のグループです。

2 団体の具体的な活動内容

(1) 定期的活動

昭和46年、鹿沼市立図書館に「本を読む子どもの集い」を創設し、小学校低・中学年児童を対象に、それぞれ年8回の例会を開き定期的な読書指導をしています。例会数は500回を超え、その指導を受けた児童も5,000名を超えています。40年前に指導を受けた子は、父親、母親となり、その子がまたこの集いに参加しています。

(2) 研修

月1回の定例会をもち、作品合評、参考作品の批評会などを行い会員の相互研修を重ねています。

日本児童文学者協会北関東支部交流会を、年1回行い、情報交換をしています。

(3) 創作活動

文芸誌「河鹿」に会員の作品を発表しています。

3 団体としての今後の活動予定

本離れ、読書離れが進んでいるなか、「本を読む子どもの集い」へ毎月楽しみに通ってくる子どもたちもたくさんいます。私たちは、一人でも本の好きな子が増え、そのお手伝いのできればと思いながら皆活動に参加しています。

また、県内の児童文学者のグループとの交流を密にし、今後もできるだけ長く続けていきたいと思っています。